

No.149
2022/12/15



OPEN オープンユニオン 岐阜大学職員組合ニュース UNION



岐阜大学職員組合発行
〒501-1193 岐阜市柳戸1番1
Tel. 内線 9552 Fax 058-230-1118
E-mail: kumiai@gifu-u.ac.jp
HomePage: 岐阜大学職員組合 (検索)

第39回定期大会を行いました

10月5日(水)に岐阜大学職員組合の第39回定期大会を行いました。開催場所は地域科学部 第一会議室でしたが、昨年同様オンライン(Zoom)も併用し、ハイブリッドでの開催となりました。

昨年と異なる点は、直近になって新型コロナウイルス感染症における岐阜大学の活動指針の制約が大きく緩和されたことでしょう。それを機に組合の活動が活気付き、大会での活発な議論が行われること願っている旨、開会宣言では触れさせていただきました。

参加者は、代議員については、総数31名に対し、22名(オンライン含む)の出席と5通の委任状がありました。さらに、中央執行委員とその他組合員の出席を含め、当日出席者約30名(オンライン含む)で大会は開催されました。

大会議長は中央執行役員から小林一貴氏(教育学部支部)と中塚温氏(地域科学部支部)を推薦し、両名に大会を進めていただきました。改めてお礼申し上げます。

議事は例年通り、(1)第38期活動報告、(2)第38期決算報告、(3)第39期活動方針案、(4)第39期予算案の4つの議題に基づいて進められました。

(1)では、「退職者が(特に非常勤講師などでその後も大学に雇用されている際に)組合員に引き続き加入しているか否か」という内容の質問がありました。これについて各支部より回答があり、意見交換が行われました。(2)では、コロナ禍を考慮して組合員に支給された支援金の妥当性について質問がありました。(3)では、「組合支部が存在しない部署(研究センター等)に所属する人に対する勧誘活動」についての質問や、「過半数組合を目指す」という活動方針に関して現状の組合員率を問う質問等があり、これらについて意見交換が行われました。なおその場での概算の結果、現在の組合員率は約6.1%でした。

以上の議事後、組合員数の報告、第39期中央役員紹介があり、最後は第39期中央執行委員長である巽氏および出席された次期中央執行委員(三谷氏、隈部氏、嶋津氏、中塚氏、中村氏)による挨拶があり、閉会いたしました。

大会後、第38期中央執行委員で反省会を行いました。そこでの一番の話題としては、やはり新型コロナウイルス感染症における大学の活動指針のもとで、様々なレクリエーション活動が制限され、大半が開催できなかったことについて心残りに思うというものでした。

折しも第7波も終息に向かい、世間では「全国旅行支援」が始まるなど、活気が戻りつつあります。来期には様々な交流の機会が再開され、従来の活気が取り戻せることを祈っています。
(第38期書記長 三宅)



〈第39回定期大会(地域科学部第一会議室)〉

第39期中央役員挨拶

◆ 中央執行委員長 巽 徹 (教育学部支部)

このたび、第39期中央執行委員長に選出されました、教育学部支部の巽 徹と申します。1年間、どうぞよろしくお願いいたします。

第38期の椎名委員長は、2度目の中央執行委員長を務められたベテラン委員長さんでしたが、今期を仰せつかりました私は、これまでの組合活動への貢献度が十分ではなく、大変心もとないスタートとなっておりますが、それを補う強力な中央役員の皆様、ならびに、会員の皆様のお力を借りながら、少しでもお役に立てるように頑張っていきたいと思っておりますので、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

先期から引き継ぎました今期の取組の柱として、[1] 岐阜大学・機構全職員の労働条件の改善、[2] 岐阜大学・機構の民主的な運営、情報公開、[3] 組合加入の促進、組織強化、[4] 組合員の交流・学習活動の充実、[5] より良い東海国立大学機構・岐阜大学の実現、[6] 諸団体との連携が先日の定期大会で決定されました。いずれも大切な課題であり、引き続き取り組むべき内容であると思っております。これらの方針に沿って、働きやすい、働き甲斐のある職場となるように、できる限り進めていきたいと考えております。

特に、ここ数年、感染症の影響や職場の多忙化などにより、組合員の交流など人と人とのつながりを持つことが難しくなっています。感染の拡大状況を見ながらの難しい判断になることと思っておりますが、昨年、一昨年開催できなかったレクリエーション活動などの実施ができたらと思っております。

組合員の皆様のご要望・ご意見などお寄せいただき、一人でも多くの方に関心を持っていただける活動となるよう、ご協力の程よろしくお願いいたします。

◆ 中央副委員長・書記次長 伊藤 直人（応用生物科学部支部）

今期より中央執行副委員長および書記次長を拝命いたしました応用生物科学部・共同獣医学部の伊藤です。今回、初めて中央役員に任命されました。とても不慣れなため、組合員の皆様にご迷惑をおかけすると思いますが、どうぞよろしく願いいたします。

私が職員組合に加入した年がいつだったのか正確に記憶しておりませんが、当時、所属研究室の教授であった杉山誠先生（副学長、東海国立大学機構理事、元・応生支部・組合員）に強く入会を薦められたことが契機であったことをよく覚えています。大学経営において厳しさが増す昨今ですので、皆様の身近なところで様々な変化が起こる可能性があります。職場や労働条件の改善に少しでもお役に立てるように努力していきたいと思っております。どうぞよろしく願いいたします。

◆ 中央執行委員 隈部 和弘（工学部支部）

私はこれまで支部執行委員（会計）を2011、2012、2014年の3回務め、中央執行委員も2020年に1回務めました。前回の中央執行委員の時はちょうど私が体調を崩してしまったこととコロナ禍に突入したタイミングが重なって、中央執行委員としてほとんど何もできませんでした。体調が少しずつ快復してきましたので、3年ぶりに再度中央執行委員を務めることにしました。工学部支部からの前中央執行委員の内藤先生の業務を引き継いで、工学部支部と中央の橋渡し役となるよう努めます。組合の重要な役割の1つは「組合員同士の交流」であると考えており、レク担当の中央執行委員として、やみくもに中止にするだけでなく、コロナ禍でも可能な「組合員同士の交流」を模索したいと思います。1年間宜しく願い致します。

◆ 中央執行委員 中塚 温（地域科学部支部）

今期の中央執行委員になりました、地域科学部支部の中塚温です。戦争や感染症、それに伴う日本全体の諸々の問題に加え、岐阜大学は名古屋大学との統合による変化もこれからより本格的に現れてくるでしょう。正直面倒な時期にお役目を任されたなと言う感じがありますが、呑気に平穩に生きていくためにも、職員組合内、職組と法人間で、まともな理屈が通じ、実のある対話出来るよう、ささやかに活動していこうかと思います。組合員の皆様、ご協力をお願いします。

◆ 中央執行委員 中村 琢(教育学部支部)

今期から1年間、中央の執行委員を務めることになりました、教育学部の中村琢です。私は2013年に岐阜大学に就職して今年で10年目になります。就職1年目から同僚の先生方に誘っていただき、組合に入りました。これまでは支部の活動に参加する程度でした。これを機に他学部・他部署の方々や名古屋大学の方々とも協力して、働く環境の改善を考えたり、問題意識を共有したりして、組合の活性化と発展に努めたいと思います。よろしくお願ひします。

※紙面の都合により、中央書記長・執行委員1名につきましては次回掲載予定です。

名古屋大学職組との懇談会を実施しました

第38期からの取組として、名大職組との定期的な情報交換を目的に懇談会を開催しています。第39期となってからは初の懇談会となりましたが、11月28日(月)18:00からオンラインにより実施いたしました。今回は、名大職組から2名、岐阜大学からは、4名の中央執行委員(隈部、中村、中塚、巽)が出席いたしました。

懇談会では、両大学組合の情報交換や、年明けに実施を予定している東海国立大学機構長との会見に関する打ち合わせを行いました。具体的には、機構職員の定年延長に関する情報の共有や電気料金の高騰が教育・研究活動や様々な職場で深刻な影響を与えていることなどを話し合いました。両大学の現状を確認し、機構長との懇談で取り上げる話題などについて確認しました。

(中央執行委員長 巽)

若手忘年会に关しまして

例年12月中～下旬に若手忘年会を企画・開催しております。

「新型コロナウイルス感染症(COVID-19)における岐阜大学の活動指針」の「6. 課外活動」のレベルは現状1「感染防止措置に留意」ですが、普段会わない人との会食、大人数・長時間の飲食は避ける、となっておりますので、誠に申し訳ございませんが、今年度はひとまず「延期」と致します。

来年になり、レベルが下がった、あるいは会食を避ける等の文言が削除された後に、同様の懇親会を別の名称で企画する予定です。

